

窒素酸化物

窒素と酸素が結合した化合物で、一酸化窒素や二酸化窒素があり、ボイラーや自動車等から排出される代表的な大気汚染物質の一つ。呼吸器系疾患の原因物質の一つとされている。

中間処理

廃棄物の埋め立て等の「最終処分」に対して、廃棄物の焼却や破碎の行為を「中間処理」と言う。

低公害車

走行時の窒素酸化物や二酸化炭素等の排出量が少ない自動車を言い、ハイブリッド自動車、電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車がある。

デポジット制度

容器等の回収を促進するために、製品本来の価格に預かり金を上乗せして販売し、容器等の返却時に預かり金を返却する制度。

天然生林

主として天然力を活用することにより成立した森林。

毒性等量 (TEQ)

ダイオキシン類は、化合物の種類によって、その毒性が大きく異なることから、ダイオキシン類全体としての毒性を評価するときには、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの濃度に換算して表示する。

特定鳥獣保護管理計画

人と野生鳥獣との共存を図るため、地域的に著しく増加または減少している種の個体群の保護管理目標や方法を定める計画。

特定フロン

オゾン層破壊の最大原因として、モントリオール議定書に基づき、1996年で全廃となったフロン。CFC-11、12、113、114、115の5種類のクロロフルオロカーボンを指す。

土壤残留性農薬

適用病害虫の範囲および使用方法を遵守しないで使用される場合に、その使用に係る農地等の土壤の汚染が生じ、かつ、その汚染により汚染される農作物の利用が原因となって人畜に被害を生ずるおそれがある種類の農薬。

な 行**ナチュラリスト**

一般には、自然に関心を持って積極的に自然に親しむ人や自然の動植物を観察・研究する人のことを指すが、県では、これらの人々を「ナチュラリスト」として登録することにより、福井のすぐれた自然環境を県民が守り育てていこうとする活動を支援している。

二酸化硫黄

燃料中の硫黄分は燃焼すると、ほとんど二酸化硫黄として排出される。二酸化硫黄は無色で刺激臭のある気体で、粘膜質特に気道に対する刺激作用が強い。

二酸化窒素

燃料中の窒素分や空気中の窒素が酸化されて生成する、赤褐色で刺激性の気体。

は 行**バイオマスエネルギー**

樹木などの生物体（バイオマス）が生成・排出する有機物から得られるエネルギーのこと、太陽光・空気・水・土壌の作用で生成されるため再生可能である。

廃棄物不法処理防止連絡協議会

産業廃棄物の不適正処理、不法投棄等の防止を目的に、平成6年2月、県、警察、市町村、関係団体で組織された。また、各健康福祉センター単位にブロック連絡協議会を置く。

パークアンドライド、サイクルアンドライド

郊外の駅周辺まで自動車または自転車で行き、公共交通機関に乗り換えて都心部へ入る方式。

パートナーシップ

異なる主体が、共通の目的を実現するために、情報を共有し、対等な立場で、公開の原則のもとで、違いを認め、むしろそれを活かしながら協力して行動すること。

PM_{2.5}

大気中の「粒子状物質（PM）」の環境基準は、10マイクロメートル未満のものについて設定されているが、より小さい粒子状物質が呼吸器疾患やぜんそくなどの原因になると、アメリカでは、2.5マイクロメートル未満の粒子（PM_{2.5}という）を対象としている。

BOD（生物化学的酸素要求量）

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量で、河川の有機汚濁を測る代表的な指標である。BODが大きいほど、河川の汚濁が進んでいることになる。

ビオトープ

多種類の動物・植物が一つの生態系を構成し、共同体として生息・生育できるあるまとまりをもった環境。

被覆肥料

肥料の表面を微細な穴のあいた薄い膜等で被覆した肥料。被覆材の材質や厚さの違いで肥料成分の溶出量や溶出期間を調節することができ、環境負荷の低減にも有効と考えられている。

PRTR

潜在的に有害な化学物質について、事業者自らが環境中への排出量や廃棄物としての移動量などのデータを収集・整理し、これを公表することで、使用量の削減を図ろうとする一連の仕組み。

PCB（ポリ塩化ビフェニール）

沸点が高く化学的に安定なことなどから、昭和40年代まで、トランスの絶縁油や潤滑油、ノーカーボン紙などに利用されていた物質で、カネミ油症事件の原因物質とされている。

砒素

金属と非金属の中間的性質を持つ元素であり、もともと地殻中にも0.5mg/g程度存在するが、その化合物は毒性が強い。

富栄養化

窒素・磷を含む物質が湖沼等の閉鎖性水域に流入し、プランクトン等水生植物が増殖することに伴ってその水質が悪化する現象。

福井県環境ISOネットワーク

平成13年11月、県内のISO14001の認証を取得した事業所等および取得を目指す事業所等により、幅広い情報の交換や効果的な研修等を通じて資質の向上を図り、環境改善に向けたより一層の取組みを推進するために設立された。

福井県産業廃棄物自主管理システム

多量に廃棄物を排出する事業者が自主管理計画を策定し、毎年、自己評価結果を県に報告するシステム。

福井県リサイクル推進店登録制度

再生品の販売や買い物袋持参運動等の減量化・リサイクルの取組みを積極的に実施している店舗を、県に登録する制度。（平成14年12月末現在、128店が登録）

福井県リサイクル製品認定制度

県内で製造されたリサイクル製品であって、規格等について一定の基準を満たすものを、県が認定する制度。（平成14年12月末現在、40品目を認定）

負の遺産

有害物質による土壤や地下水の汚染、PCBなど難分解性有害物質の処理問題、地球温暖化やオゾン層の破壊など、20世紀中に解決できなかった環境問題のことを、こう呼ぶことがある。

浮遊粒子状物質

浮遊粉じんのうち、10ミクロン以下の粒子状物質のことをいい、ボイラーやディーゼル自動車の排ガス等から発生し、気道や肺に沈着して人体に悪影響を与えると言われている。

フロン回収破壊法

（特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律）

業務用冷凍空調機（冷蔵または冷凍の機能を有する自動販売機を含む。）とカーエアコンに使用されているフロンの回収と破壊を義務付けた法律で、登録業者がその回収業務にあたる仕組みになっている。

閉鎖性水域

湖や港など、その形状から見て、水の循環が悪い水域のことを言い、水質の悪化をきたしやすい。

法定外目的税

地方税法に定められた税目（県民税、事業税、固定資産税など）とは別に、特定の費用に充てるため地方自治体が独自に課する税。